

安全データシート

作成日:2015/03/01

改訂日:2016/06/01

1.化学品及び会社情報

化学品の名称: 10%亜硫酸ソーダ
会社名: 高杉製薬株式会社
住所: 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号: 092-621-1231
FAX番号: 092-621-6269

2.危険有害性の要約

GHS分類: 該当区分なし
GHSラベル要素: なし
危険有害性情報: なし
注意書き: [安全対策]
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。

[応急措置]
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
異常を感じた場合には、ただちに医師に連絡し指示を仰ぐこと。
漏出物を回収すること。

[廃棄]
内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3.組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物(水溶液)
化学名: 亜硫酸ナトリウム水溶液
成分及び含有量: 亜硫酸ナトリウム10.0%(水溶液)
化学式又は構造式: Na_2SO_3
分子量(式量): 126.04
官報公示整理番号: 1-502
(化審法・安衛法)
CAS No.: 7757-83-7

4.応急措置

吸入した場合: 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 水又は石けん水で直ちに洗い流す。異常がある場合、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合: 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合: 大量の水又は牛乳を飲ませる等(無理に吐かせない)の応急処置をして医師の診断を受ける。
意識のない場合には何も与えず、速やかに医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

消火剤: 粉末、泡、炭酸ガス消火剤が有効。
消火方法: 水噴霧消火する(亜硫酸ガスの発生に注意)。
周辺火災の場合には、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火にあたる者は、全体保護衣、顔全体被覆の呼吸装置を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置：

環境に対する注意事項：
除去方法：

作業の際には、必ず保護具を着用し、屋内の場合は処理完了まで十分に換気をする
こと。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
濃厚な廃液が河川等に排水されないように注意する。
危険でなければ、先ず洩れを止める。
漏洩した液が少量の場合、ペーパータオル、ウエス、土砂等に吸収させてできるだけ限り
空容器に回収する。未回収品は、ソーダ灰又は重炭酸ソーダを撒いてから大量の水
漏洩した液が大量の場合、その流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容
器に出来るだけ回収し、ソーダ灰と良く混合してからサラシ粉を加えて攪拌の後、約
1時間放置し希塩酸で中和し大量の水で洗い流す。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：
取扱い者の暴露防止：
注意事項：

保管

適切な保管場所：

容器包装材料：

取扱い場所の近くに、手洗い、洗眼等の設備を設ける。
眼・皮膚・衣服に触れないように適切な保護具を着用する。
強酸及び酸化剤と急激に混合しない。

空気中で徐々に酸化され、硫酸塩となるので密封容器に保管する。
酸性にすると亜硫酸ガスが発生するので、酸との接触を避ける。
20℃以下になると結晶化する為、必要に応じ保温・加温する。
塩ビ、ポリエチレン等

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

5ppm(as SO₂)

許容濃度

日本産業衛生学会(1994 年度版)：

設定されていない。

ACGIH(1993～94 年度版)：

TLV-TWA 5 mg/m₃

設備対策：

加熱されず、開放型取扱いにならないようにすること。
局所排気装置、洗眼・手洗い設備等を取扱い場所に設ける。

保護具

呼吸器の保護具：

防毒マスク(SO₂用)

手の保護具：

保護手袋、ゴム・プラスチック製手袋等

眼の保護具：

保護眼鏡、安全ゴーグル、保護面

皮膚及び身体の保護具：

長袖作業衣、作業帽、ゴム長靴等

9.物理的・化学的性質

形状：

液体

色：

無色～うすい黒色、透明

臭い：

データなし

pH：

データなし

融点・凝固点：

データなし

引火点：

不燃性

蒸発速度：

データなし

爆発範囲の上限・下限：

データなし

蒸気圧：

データなし

蒸気密度：

データなし

比重：

約 1.1(20℃)

溶解性：

水に任意の割合で混合する。
グリセリンに可溶。アルコールに不溶。

n-オクタノール／水分配係数：

データなし

自然発火温度：

不燃性

分解温度：

データなし

10.安定性及び反応性

安定性・反応性：

常温では安定。

危険有害反応可能性：

強い還元性をもち、自身は酸化されて硫酸ナトリウムとなる。

避けるべき条件：

データなし

混触危険物質：

鉱酸類と接触すると有害な亜硫酸ガスを発生する。

危険有害な分解生成物：

鉱酸類

硫黄酸化物

11.有害性情報

亜硫酸ナトリウム(無水)について

急性毒性：

経口 ラット LD₅₀: 3560mg/kg (RTECS)
 経口 マウス LD₅₀: 820mg/kg (RTECS)
 腹腔 マウス LD₅₀: 950mg/kg (RTECS)
 静脈 マウス LD₅₀: 175mg/kg (RTECS)
 亜硫酸塩は生体内で酸化され硫酸塩となるが、亜硫酸を遊離するため、消化管粘
 膜を刺激しやすい。ヒトでは4gの内服で中毒症状が現れることがあり、5.8gでは胃腸
 の激しい刺激症状を起こす。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 皮膚、粘膜に対して軽度の刺激性がある。
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 眼に対して刺激性がある。
 発がん性

IARC： グループ3(ヒトに対する発がん性については分類できない)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 吸入すると、喘息様反応を引き起こすことがある。
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 反復又は長期の接触により、皮膚感作を引き起こすことがある。(ICSC)
 反復又は長期の吸入により、喘息を引き起こすことがある。(ICSC)

12.環境影響情報

生態毒性
 魚毒性： カダヤシ TLm: 2600ppm/24h
 残留性/分解性： データなし。
 生体蓄積性： データなし。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 酸化剤で処理後、中和し廃棄する。
 産業廃棄物処理業者へ処理を委託する。
 汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14.輸送上の注意

国連番号及び国連分類： 国連の分類の定義上危険有害物に該当しない。
 注意事項 強酸類、酸化剤との混載は避けること。
 密閉容器を使用する。

15.適用法令

海洋汚染防止法 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

16.その他の情報

引用文献

1. 15911の化学商品 化学工業日報社(2011)
2. 化学大辞典 共立出版(1993)
3. 危険物毒物処理取扱いマニュアル 海外技術資料研究所(1985)
4. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2001)
5. The Merck Index 12th Edition Merck&Co.Inc(1996)
6. 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社(1994)
7. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。